



表紙写真:ヤマボウシの「白い花」



クマノミズキの白い花の集まり(花序)

花の色が実にさまざまなのは誰しもがよく知るところですが、初夏に咲く木の花の色に白が多いと思っただけではありませんか？ 植物園や川内キャンパス、青葉山キャンパスでは六月ともなると、ヤマボウシの白い花が目につきます。四枚の花びらのように見えるのは実はこれは「苞(ほう)」と言って、葉の変形したものです。これらに囲まれた中央の丸い緑の「玉」は花が多数集まった「花序」で、一つ一つの花はとも小さく目立ちません。

植物の主な花粉の受け渡し方法には、昆虫が花粉を運ぶ虫媒花と風が運ぶ風媒花の二通りがあります。虫媒花ではいかに昆虫を呼び寄せるのか、そこに植物たちは知恵を絞っています。ヤマボウシと同じ仲間のミズキ類も一つ一つの花が小さいのですが、これをたくさん集めて全体として大きな白い「花」(花序)をつくり昆虫にアピールします。植物の世界、目的は同じでも、それぞれがあれこれと工夫を凝らし、近縁な仲間でも違った形をとるなど、実にさまざまな生き方をしています。

青葉山の初夏の森は、濃い緑の木々に白い花が咲いているだけでもとても地味なように見えます。が、よく観察すると、そこには植物たちの個性が遺憾なく発揮されているのが分かります、自然界の奥の深さをしみじみと感じます。

東北大学名誉教授
（東北大学術資源研究センター植物園副園長）
鈴木三男

©東北大学 植物園 URL : <http://www.biology.tohoku.ac.jp/garden/>

この『まなびの杜』は、インターネットでもご覧になれます
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/manabi/>
バックナンバーもご覧になれます

- 『まなびの杜』をご希望の方は各キャンパス(片平、川内、青葉山、星陵、雨宮)の警務員室、附属図書館、総合学術博物館、植物園、病院の待合室などで手に入れることができますので、ご利用ください。
- 無断転載を禁じます。
- 『まなびの杜』は3月、6月、9月、12月の月末に発行する予定です。
- 『まなびの杜』編集委員会委員(五十音順)
伊藤 彰則 加藤 道代 小坂 健 齋藤 忠夫 佐藤 博 柴田 友厚
田邊 いつみ 寺田 直樹 中原 太郎 堀井 明 山家 智之 横溝 博
東北大学総務部広報課 谷口 善孝 佐藤 梓
- 『まなびの杜』に対するご意見などは、手紙、ファクシミリ、電子メールでお寄せください。
〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
TEL 022-217-4977 FAX 022-217-4818
Eメール koho@bureau.tohoku.ac.jp

【 編 | 集 | 後 | 記 | 】

東日本大震災とそれに続く福島原子力発電所事故から、1年3ヶ月が経過しました。東北大学でも遅れていた建物の復旧工事が始まっています。2011年は、災害への対応処理や復旧に追われた方々も多かったと思います。私も放射能の食品健康影響の評価に携わり、予期せぬ1年でした。この中で、多くの方からご意見を聞く機会があり、安全な生活への不安を伺うにつけ「生活の科学」とも言うべき生活に密着した基礎的な科学知識を学び、身につける機会の必要性を感じました。『まなびの杜』をお読みいただいている方々には、若い方も多いと思います。若い方には「なぜ」を学んだ知識で分析し、新知識に結びつける習慣を身につけていただければと思います。地元東北では、未だ後処理に追われている方々も多いと思いますが、このような多忙な時期に社会の変革がしばしば起きます。より良き生活を実感できる社会の実現に向けて、気分一新、がんばりましょう。私はこれを最後に編集から離れますが、皆様、『まなびの杜』をよろしく。

『まなびの杜』編集委員会委員
薬学研究科 山添 康



東北大学

まなびの杜

平成24年6月30日発行
発行人:東北大学『まなびの杜』編集委員会委員長 齋藤 忠夫
〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
東北大学総務部広報課 TEL.022-217-4977 FAX.022-217-4818

※著作権は国立大学法人東北大学が所有しています。※無断転載を禁じます。※この用紙は、再生紙を使用しています。